

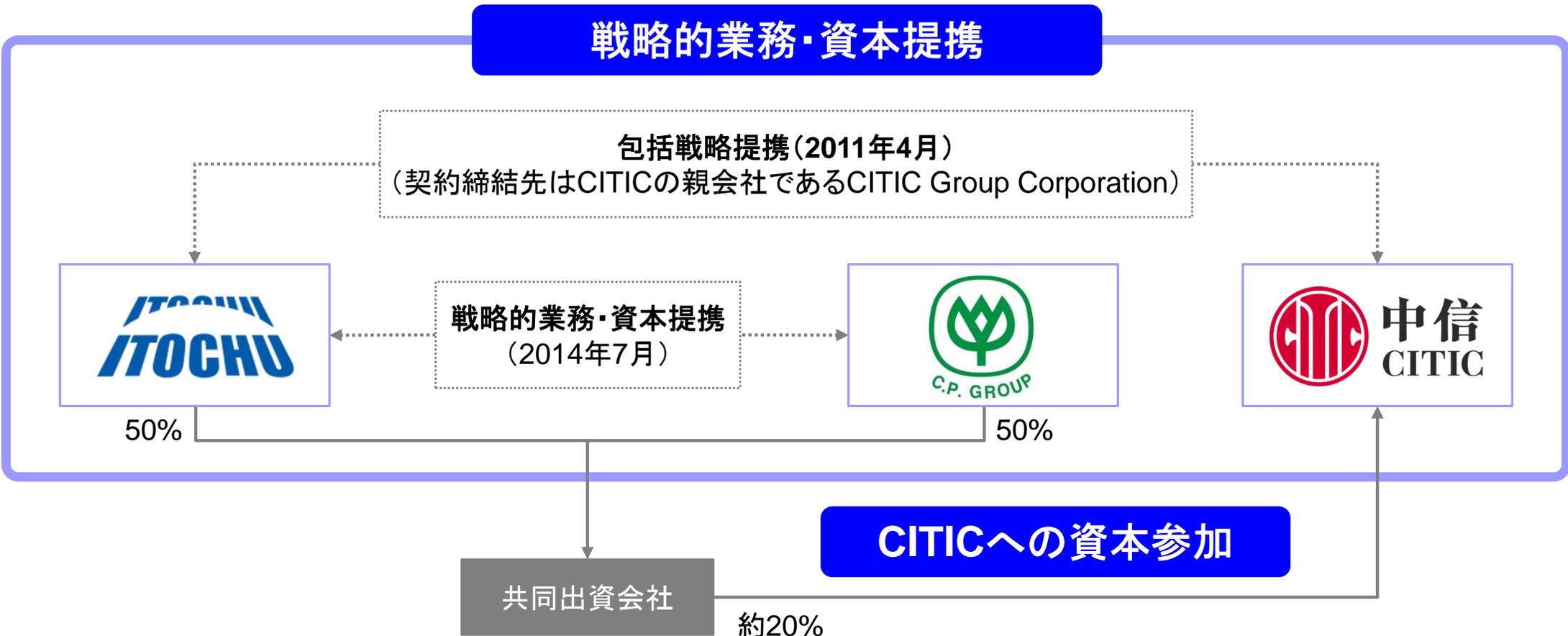
**中国最大のコングロマリット・CITIC Limited、
アジア有数の大手コングロマリット・Charoen Pokphand Group
Company Limitedとの戦略的業務・資本提携に関するお知らせ**

**2015年1月20日
伊藤忠商事株式会社**



今回のお知らせの内容

- 中国最大のコングロマリットCITIC Limited (CITIC)、アジア有数の大手コングロマリットCharoen Pokphand Group Company Limited (CPG)、伊藤忠商事 (伊藤忠) の3社間で、今後の事業展開に関する戦略的業務・資本提携を実施。
- 伊藤忠、CPGの共同出資会社がCITIC普通株式 (10%相当)、及び優先株式 (普通株式約13.4%相当に転換可能) を取得。当該優先株式の普通株式への転換後、CITICは共同出資会社の持分法適用関連会社となる。



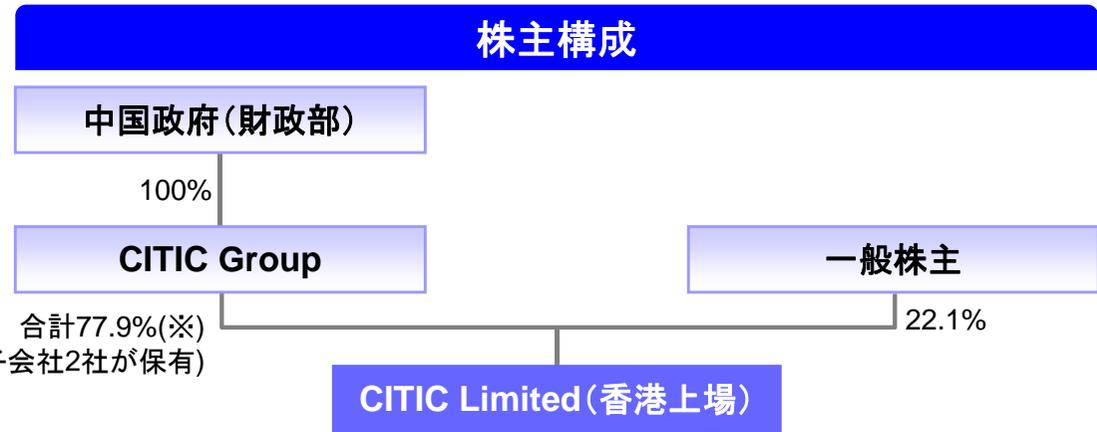


CITIC Limitedの概要



- 1979年に中国政府主導で設立された中国最大のコングロマリット。
- 特に金融事業に強みを持ち、多岐に亘るビジネスを展開、今後は本格的な国際化・多角化を推進する方針。

合計77.9%(※)
(※)CITIC Groupの100%子会社2社が保有)



CITIC Limited 概要 (1HK\$=15円換算)

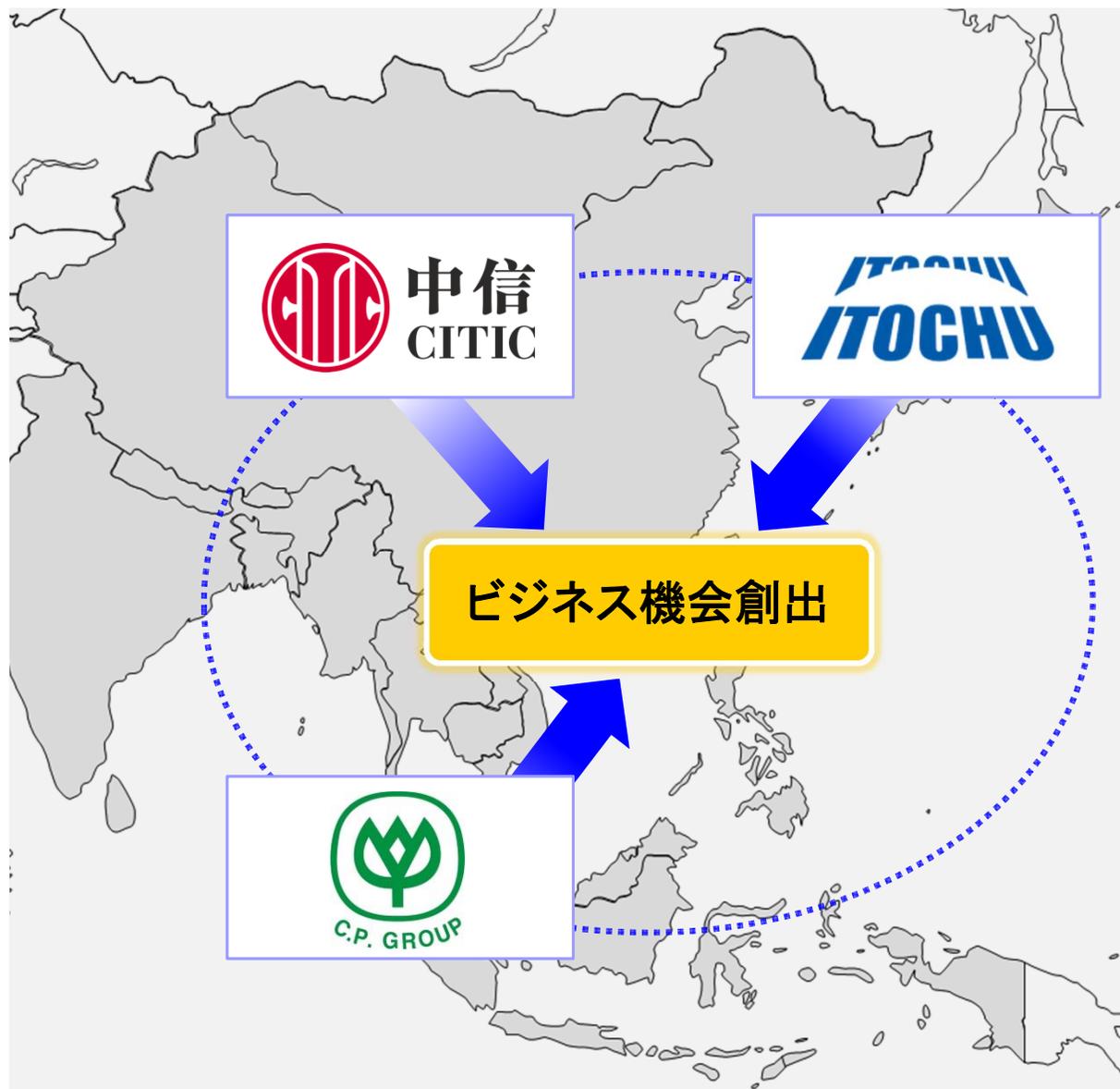
社名	CITIC Limited
2013年度 連結総資産 <small>(※)</small>	HK\$ 5,322Billion (約80兆円)
2013年度 連結純利益 <small>(※)</small>	HK\$ 48Billion (約7,300億円)
時価総額 (2015/1/19現在)	HK\$ 332Billion (約5.0兆円)
Moody's格付	A3

(※) CITIC Pacificが2014年8月に取得した旧CITIC Limitedの財務数値を合算したプロフォーマ財務数値(未監査)

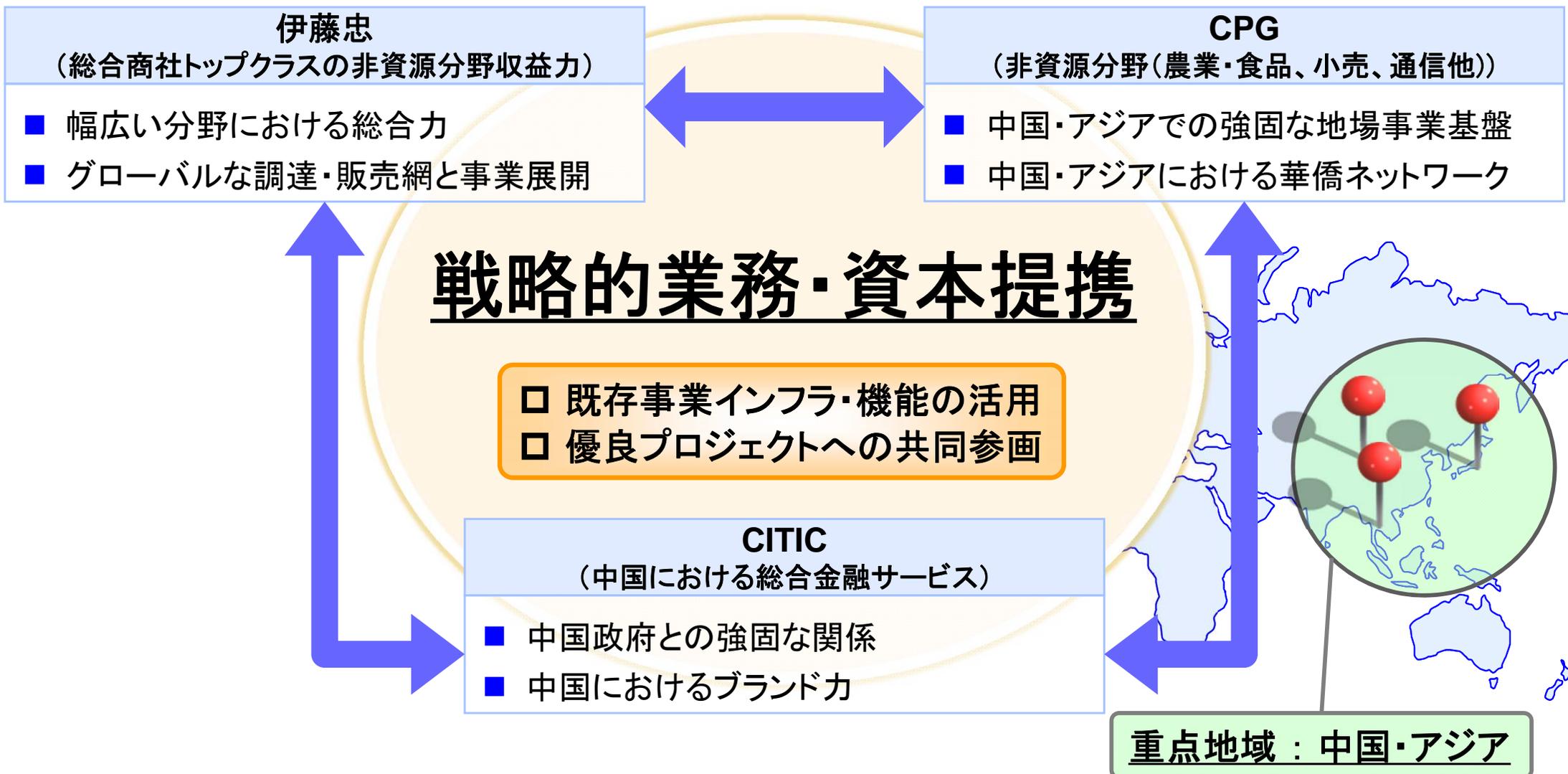
中国指導部による国有企業改革の下、CITICグループが、資金調達手段の拡大、透明性の向上、企業統治の強化及び国際化等を目的として、2014年8月に銀行、証券、資源開発等グループ企業の資産をCITIC Limitedへ集約。

金融事業	中国第1位の信託会社 中国第1位の証券会社 中国第7位の銀行
不動産・インフラ	中国29都市のオペレーション
建設・プロジェクト	中国第6位の建設業
資源・エネルギー	アジア、豪州、南米での石油、石炭、鉄鉱石事業
製造業	世界第1位のアルミホイール製造 中国第1位の建材製造機器 中国第1位の特殊鋼製造
その他	IT、通信、医療、運送、出版、旅行、スポーツ等

- 中国最大のコングロマリットであるCITIC、アジア有数の大手コングロマリットであるCPG との戦略的業務提携を通じ、伊藤忠の「中国・アジアを最重要地域とする非資源分野を中心とした成長戦略」は大きく前進。
- CITICが国際化・多角化を推進していくにあたり、1972年、中国政府が最初に「友好商社」に認定した伊藤忠、1979年、中国改革開放直後の中国に最初に進出した外資企業であるCPGのプレゼンスを評価し提携。
- CPGは農業と食料品を中心に情報通信、流通、金融、医薬品等の事業を手掛け、アジア地域で更なる事業展開を推進中。
- 3社間の戦略的業務提携に加え、伊藤忠・CPGの共同出資会社からのCITICへの資本参加、取締役派遣等により緊密な連携を行い、ビジネス機会創出による収益拡大を図る。



- 日本・中国・アジア有数のコングロマリット3社が各々の強みを融合し、それぞれが持つ既存事業インフラ・機能の活用や優良資産の共同取得により、今後も高い成長が見込まれる中国・アジア市場を中心に幅広い事業領域にてシナジーの最大化を追求し、成長を加速する。



> シナジー創出可能分野

- 金融事業以外への事業多角化を目指すCITICと、生活消費関連分野を中心に非資源分野で強みを発揮する伊藤忠・CPGは、以下を中心とした幅広い分野においてシナジー創出を追求。
- CITICが今後注力する環境、農業、省エネ等の分野でも新たな事業機会創出を追求。

生活消費関連分野

中国での商業施設開発

ブランドビジネスの展開

医療・健康関連ビジネスの展開

食料供給拠点への共同投資

食料品卸売・販売網の整備

衛星・通信関連事業

不動産関連事業

物流関連事業

金融・ファンド関連事業

基礎産業分野

自動車周辺事業の展開

インフラ事業への共同投資

化学品・電池関連事業の展開

エネルギー関連トレード

資源関連分野

金属資源への共同投資

エネルギー資源への共同投資

新たな事業機会

富裕層向け
ビジネス

高齢者向け
ビジネス

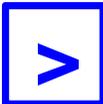
水・環境

農業関連

省エネ

新エネルギー





出資スキーム概略、及び、当社へのインパクト



香港証券取引所におけるCITIC株式の流動性等を考慮し、2段階方式を採用。

□ 第1ステップ(2015年4月を予定)

伊藤忠・CPGの共同出資会社がCITIC Group(中国政府(財政部)100%出資)の100%子会社であるCITIC Polaris Limitedより約2,490百万株(総議決権数の10%相当)を総額約344億香港ドル(HK\$13.8/株)で取得。

□ 第2ステップ(2015年10月を予定)

伊藤忠・CPGの共同出資会社がCITICが発行する同社の総議決権数の約13.4%相当の普通株式(約3,328百万株)に転換可能な優先株式を総額約459億香港ドル(HK\$13.8/株)で引受。当該優先株式を、香港証券取引所におけるCITIC株式の流動性が一定程度確保されていることを確認のうえ、3ヶ月以内に普通株式へ転換。当該優先株式の普通株式への転換後にCITICは共同出資会社の持分法適用関連会社となる。

当社定量インパクト

□ B/Sインパクト

(1HK\$=15円換算)	第1ステップ	第2ステップ	累計
総資産増加額	約2,600億円	約3,400億円	約6,000億円

□ P/Lインパクト

2014年度は軽微。2015年度以降は判明次第開示致します。

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的
事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な
期待、見積り、予想に基づいています。これらの期待、見積り、予想は、経
済情勢の変化、為替レートの変動、競争環境の変化、係争中及び将来の
訴訟の結果、資金調達の継続的な有用性等多くの潜在的リスク、不確実な
要素、仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる
可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依
拠することは差し控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報、
将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものでは
ありません。